



こんにちは こなり眼科です

謹賀
新年



2023
冬
第72号

発行 医療法人社団
スモールサクセス
編集 院内誌編集部
令和5年1月発行

両家代表あいさつ



先日、都内のホテルで次男の結婚式と披露宴が執り行われました。その席で両家を代表してあいさつした時のお話をしましょう。

子供の頃から引っ込み思案で恥ずかしがり屋だった自分。人前で話すなんて

絶対に無理、小学生の頃などは教室で席から立ち上がってみんなの前で何かを発表する、そんな場面では声は震えて上ずり、顔は真っ赤、本当につらいものがありました。

中学生になり、多少は慣れてきたものの、まだまだ人前に出るのは苦手でした。ところが高校生になるとかなり普通にしゃべることができるようになってきました。自分に自信を持てるようになってきたためかも知れません。大学に入るともう全然平気になり、卒業して医者になり、学会や講演会で大勢の前で発表する機会が増えるようになると思しう人前で話すことが嫌いじゃなくなってきました。

そのころから先輩や同僚、友人の結婚式に呼ばれることも多くなり、スピーチを頼まれたりすることも増えてきました。そうすると真面目一辺倒の話じゃつまらなくなってきて会場のウケを狙うようになりました。ただただ新郎や新婦のすばらしさをほめたたえるようなエピソードを紹介するスピーチじゃあ嬉しいのは親族だけ、その他の人は聞いててな～んにも面白くない。それでは僕のプライドが許しません。みんなが笑えるような話をしなくちゃ、ですよ。

家内も人前で話すのは大得意。面白おかしくその場の人達を笑わせて盛り上げるのは大変うまく、僕の遙か上をいきます。そんな家内からは僕のスピーチに対して厳しいチェックが入ります。「今日のスピーチはいまいちだったわね。あんまり面白くない。もっと笑わせなきゃ!」「ハイ、すみません。次回頑張りま～す」そんな訳で家内が同席する場でのスピーチは、周りの人たちの反応よりも家内の反応の方が気になってたりするんですね、実は。

閑話休題。次男から親族代表のスピーチを頼まれたのが結婚式の1か月位前だったでしょうか。自分たちが結婚したころはまず最初に大学の教授に仲人をお願いしつつスケジュールを伺い、教授の都合の良い日を選んで結婚式の日取りを決めたものですが、昨今の結婚式では仲人など存在しません。披露宴の形態も自由、何でもあります。でもそんな中でも親のスピーチなんてあるんだ、等と思いつつ早速ストーリーを考えました。

「こんなんじゃダメよ。両家代表のあいさつなんだからもっと新婦の素晴らしいところも盛り込んで向こうの親族も喜ばせなきゃ」僕がざっと書いたスピーチ原稿を家内に見せると早速バツサリ。「素晴らしいところって・・・良く知らないんだけどねえ」「ほら例えば『あんなこと』や『こんなこと』があったじゃない。それを書けば?」

う～ん、あまり面白くないスピーチになりそうだなあ。少なくとも笑いは取れないよそれじゃ。とりあえず家内の意向に沿う形で原稿を作り直しました。

「ま、これならいいんじゃないの」そりゃどうも。でも僕にとっては全然良くないのです。内緒で書き替えようっと。

そして結婚式当日。結婚式、披露宴と順調に進み終わりが近づいてきました。私たち夫婦と相手方の夫婦の4人が会場内の後方に並ばされ、お涙頂戴の一連の儀式が行われた後いよいよ僕のスピーチの番です。もちろん内容はすべて頭の中に入っているのだから原稿を読んだりしません。

出だしは家内との打ち合わせ通りの内容ですが、途中からまるっきり笑いをとる方向へ内容を変えています。会場から笑いが起こり、狙いは当たりました。何より嬉しかったのは僕の横に立つ家内が聞きながら「クックク」と笑いをかみ殺していたことです。今回はダメ出しをされずに済みそうです。

式後。「ねえ、いつの間に原稿の内容を変えたの?」「え、ちょっと前だけど」「ふ～ん」っておい! 何か感想はないのかよう。もうちょっと褒めてくれ～。おしまい。

勇気の一步手術体験記

当院では平成10年の開業以来、約11,700件の白内障手術を行ってきました。手術を受けた患者様の体験を自らの文章で紹介していただくコーナー。今回は奥井アサ子様です。

奥井 アサ子様

日頃から針穴が騒む、読み書きしているうちに騒んで来る、自転車に乗ると対向車のライトがやけに眩しいといった症状を自覚していました。しかし生活には支障がなく健康診断でも何も告げられないのでそのまま放置していました。ところが今回はじめて白内障と告げられ自分の眼の状態に納得、原因が明白となったことで自覚症状もあることから手術を決断しました。

かなり眼科の評判の良い事は耳にしていたので、99.5%はかなり眼科確実、残りの0.5%は他の眼科の情報も知りたいと思い、インターネットで検索を(笑)…やはりかなり眼科で間違いないと確信しました。

初診では「右眼の白内障が進んでいますね」と。手術の意志を伝えますと、先生が「手術を決めて来たのですか？」と穏やかな微笑みを浮かべ仰った言葉が印象に残りました。その日のうちに手術の日程を決めて頂き、顕微鏡につながるモニターに映る自分の眼の画像を見せて頂きながら説明を伺いました。その後の受診では手術に向けて明確な検査が行われました。

受診の度に先生はじめスタッフさんの連携の良さと明るい対応



に心が和み、安堵し全幅の信頼を寄せ通院致しておりました。

手術当日は少し緊張致しましたが、細やかなご配慮を頂きリラックスでき手術を受けさせて頂きました。手術は痛みもなく、あっという間に終わり、付き添いのいない私でしたのでご面倒をお掛け致しましたが、先生やスタッフさんの優しいお声掛け、笑顔での丁寧な対応に感謝で一杯でした。夕方には先生からのお電話に感極まりました。幸い痛みもなく安静にしているのがただただ苦痛でした(笑)。

二度目の手術も無事終え、両眼で見た時はあまりにも良く見え戸惑う程でした。症状が進んでいた事に気づけなかった自分に愕然としました。良く見える様になったことは嬉しかったのですが、レンズの違和感がなくなるまでは、少々葛藤がありました。いつまで続くのだろうと思って少し不安でしたが、四か月目位から段々と馴染んできました。今では手術して良かったと喜びの日々です。

暖かくご配慮の行き届いておられます院長先生、スタッフの皆様、どうもありがとうございました。



おひろ目！私の趣味

趣味は人それぞれ。患者様の趣味を紹介するこのコーナー。今回はピアノの伴奏や刺繍などをなさっている、砂田由紀子様です。

砂田 由紀子様



3歳半からピアノを始められた砂田様。今はコーラスグループでピアノの伴奏をなさっています。ピアノはお母様のたっでの熱い願いから習い始めたとの事。中学生になる頃には遠く大阪の先生にも月に1回一人で通われるなど、学生時代には遊ぶ暇も無い程ピアノ中心の生活を送られていましたが、全く苦にならずピアノを弾くことが楽しかったそうです。

「人と演奏する事でまた吸収

できるものがある」という大学時代の恩師の教えを受け、伴奏の基礎を習い始めたそうです。地元のコーラスグループに所属していた時、ご友人から他のグループの先生を紹介され、その方から依頼されたことがきっかけでコーラスの伴奏を始められました。出会った時からその先生とは気持ちが合い、それから25年間同じグループで伴奏なさっています。

その傍ら介護施設を訪問してピアノを演奏していた事もあり、入居者の方からとても喜ばれた経験をきっかけにご友人と

音楽ボランティアを開始。季節ごとにテーマを決め、ピアノ・歌・ハンドベルなどの演奏を同施設で10年間続けられたそうです。このボランティア活動は親御様の介護の為お辞めになったそうですが、コーラスの伴奏は月に2回続けられていて、そこでお仲間と集まる事で元気づけられ、生活の軸もしっかりするそうです。

一人で演奏するより人と合わせることに喜びを感じるとおっしゃる砂田様ですが、実はピアノ以外にも刺繍・刺し子・バッグ作りなどもなさるとも多才な方です。このような手芸は大阪の先生のご趣味に影響を受けられたそうで、この先生との出会いは当時中学生の砂田様にとって大きなカルチャーショックであり、世界が開いたように思えたそうです。

ピアノを通じて様々な出会いを重ねてこられた砂田様の“続けていく事に無駄な事無し”というお言葉に大変感銘を受けました。

当院で白内障の手術をなさってからは楽譜も良くみえるようになったとお喜びで、今は春のコーラスのステージを目指して活動中だそうです。無事に開催されると良いですね。



私はやっぱりかなり眼科

16年通われている 赤迫幸夫様 道子様



—ご夫妻で長く通ってくださりありがとうございます。最初に、かなり眼科に来院するようになったきっかけを教えてください。

私は元々地元の眼科に通っていたの。そこは手術をしていないから、手術はかなりさんに紹介しているようだとの噂で聞いていて。ある時自覚的に、とうとう白内障が進んだなと思って、紹介状なくいきなりお邪魔したのよ。しかもね、無理言っすぐに手術していただいたの。娘のお産扱いで地方に行かなくちゃならなかったから、ちゃんと見える目になってから手伝いに行きたくて。

—間に合って何よりでした。16年ほど前だとお孫さんはもう高校生ですね。

そうね。月日の経つのは本当に早いよね。

—ご主人様の方が奥様より1年前にいらしてますね。

あれ？僕は目に急に違和感を覚えて、家内に勧められてきたのが最初じゃないかな。多分10年ちょっと前。

—カルテを拝見すると、ご主人様は奥様より前の2005年に一度いらしていますね。飛蚊症だったようです。

そうだけ？全然覚えてないなあ。

—先生の字で、半年後に来てくださって書いてあります。半年後が5年後になっちゃったんですね。

そうだったのか。その時ちゃんと来てればよかったな。違和感を感じて診てもらったら網膜に異常があることがわかって、すぐに大学病院に紹介してもらったんだ。4時間にも及ぶ手術でね、長く入院になってあの時は大変だったな。その経験から、定期健診を疎かにしてはいけないと身に染みてね。3カ月ごとに真面目に通っているよ。歳を重ねると特に首から上の健康は大事だなと思う。そうそう。私はね、目は脳の一部だと思っているの。だから健診は欠かさないように気をつけているわ。

—いつもお二人で通院なさっていて、仲良しのご夫妻で憧れます。最初にいらした時の印象はいかがでしたか？長く通い続けて下さっている理由など教えてくださいませんか？

以前はフクロウが一杯並んでたよね。僕もフクロウを集めているから、何となく親近感を覚えただよね。こちらの特徴は流れがいいこと、それと明るいことだね。後は先生がいつも「3カ月後にまた診させて下さいね」と言ってくれるところ。患者に対して丁寧な言葉を選ぶところがいいなと思う。

それになんと言っても人柄よね。先生って怒鳴ったりすること無いんじゃない？

—私は勤続25年目ですが、先生が声を荒げていらっしゃる姿を一度も見たことがありません。いつも穏やかなので、スタッフも居心地がよくて長く勤められるのだと思います。

スタッフの皆さんもとても感じがいいわね。手術の時に手を握ってくださるでしょ。あれが本当にありがたかった。未知との遭遇にドキドキしていたから、とても励まされたの。

—今はコロナで行っていないのですが、あれは大好評でした。早く復活できるといいのですが。

信頼しておまかせできた経験から、白内障の手術は絶対かなりさんがいいわよってご近所さんとか友達みんなに話しているの。

そうそう、僕たちはテニス仲間がたくさんいてね。みんなここで手術しているよ。OさんにKさんにMさんにBさん。最近だとAさん。

—うわあ、すごい！皆さんご紹介下さっていたのですね。とても嬉しいです。どうもありがとうございます。これからも患者様に愛されるクリニックであるために、アドバイスをお願いいたします。

ここは院内の雰囲気もいいわね。いつ来てもきれいな生花が活けてあるでしょう。そういう医療以外の面に関しても、患者目線で居心地良い空間を提供してくれていて、細やかな気配りを感じるわ。

そうだね。そういうところも含めて、このまま継続でいいんじゃないかな。

—どうもありがとうございます。これからも精進して参ります。

穏やかな幸夫様と明るい道子様は仲睦まじい素敵なおご夫妻です。ご家族のこと、お仕事、趣味のことと話が多岐に渡り、とても楽しいインタビューでした。お二人の信頼に応えられるようこれからも皆でアイデアを出し合い、安心していただける空間作りを大切にしていきます。

眼鏡士イノハナのいい旅見つけた



今回はどこにも出かけていないため、いい旅は休載となります…とはいえないので、またまた私の雑談です。

常々紹介しているように、私はかなりのインドア派なので旅行や観光は滅多にしません。「じゃああなた、長期休暇は家で何やってんのよ？」という話ですが、基本的にテレビを見たり動画を見たりして暇を潰しています。それでもせいぜい2~3日くらいで飽きてしまうので、暇つぶしの最終手段としてプラモデル作製をしています。

プラモデルも種類が豊富で、ポピュラーなところでロボットや車、バイク、飛行機、凝ってくると城や戦艦など細かいパーツが必要な物もあります。最近では漫画やアニメのキャラクターのプラモデルもあり、今マイブームになっています。以前スタッフブログでも話題にしましたが、休日の過ごし方を聞かれた際に「『人造人間』を作りました」と言ったら明らかに怪訝な顔をされたので発言には気を付けたいと思います。

昔は近所の雑貨屋にプラモデルが売っていたのでお小遣いを貰う度に買っていました。その頃は単色で完成する物がほとんどで、見本通りに作りたければ自分で色を塗らなければいけなかったり、ガンダムなどのロボット物は関節の可動域が狭く、ポーズが全然とれないのでかなり質素な感じでしたが、今発売されている物は組み立てるだけでお手本通りの配色に仕上がりに、ポーズも好きなようにとれたりします。そしてパーツが細かく組み立てに時間がかかるので暇つぶしとしては最適です。写真のプラモデルは「マッスルビルドシステム」という製品で、肉体の造形美と組み

立ての面白さを両立した画期的な品物らしいです。組み立てた後もどのように飾るか迷うくらいの完成度！是非お宅でも作ってみてください！

バンダイのセールスマンみたいになってしまいましたが、長時間の手作業は老眼に堪えますので皆さんは休憩を挟みながら作業してください。「最近老眼鏡が合っていないな」と思ったら、かなり眼科で眼鏡の度数が測定できますのでお気軽にお声掛けください。



視能訓練士チームがお届けする



教えてこなちゃん

新しい視野検査機械「アイモ」

皆さん、視野検査を受けたことはありますか？これは視野が欠けているかどうかを調べる検査で、緑内障の方はもちろんのこと、検診で視神経乳頭陥凹の拡大を指摘され眼科での精査を勧められた方、脳血管疾患で視野欠損が疑われた方などが対象になります。

この度かなり眼科は最新の視野検査機械を導入しました。「アイモ」というかわいい名前です。これまでの視野検査との大きな違いが2つあります。

1つめは明るくても検査できることです。通常、視野検査は暗室で行っています。ところが「アイモ」は明るい部屋でよいので、リラックスして検査を受けることができます。2つめは両眼を開けたまま検査できることです。視野検査は基本的に片眼ずつの検査になります。従来の機械では検査しない方の眼をガーゼで覆い、片方の眼だけで検査を行う必要がありました。「アイモ」では機械

自体が右眼は右眼、左眼は左眼に識別してくれるので、片眼を覆い隠す必要がないため、わずらわしさが違います。

このように患者様の負担を大幅に減らせるようになりました。実際いつもこの検査をなさっている方には「前の機械よりこっちの方が断然楽だったよ！」「検査時間が短くなり検査中眠くならなくて助かった！」といった声をいただいております。

過去に視野検査を行ったことがある患者様は、ぜひこの機会に「アイモ」での検査を体験してみてください。また視野検査ってなんだか大変そう、としり込みしていた方も「アイモ」でどんな検査なのかを知っていたら嬉しそうです。



看護師チームがお届けする

ココロカラダ・ゲンキ



何アレルギー？

これから花粉の時期に突入ですね。私も花粉症があるのでとても憂鬱になります。ところで皆様は、自分が何のアレルギーか把握していますか？「何となく春に症状があるからスギ花粉かな？」「一年中鼻水とくしゃみが出るから、多分なんかのアレルギーなんだろうな〜」など、何となくアレルギーがあることは自覚していても、検査をしっかり受けた方は少ないのではないのでしょうか？

アレルギーは内科、耳鼻科、皮膚科、アレルギー科などで調べることができます。ですが、簡単なものであれば当院でも調べることができるのをご存知でしたか？指先からごく少量の血液を採り、専用のキットを使用してスギ、ブタクサ、カモガヤ、シラカンパ（属）、ヨモギ、イヌ、

ネコ、ヤケヒョウヒダニの8種類のアレルギーがあるかどうかを、約20分で判定します。

「アレルギーを調べる為だけに病院やクリニックに行くのも大変…」という方は、是非この機会に調べてみてはいかがでしょうか？診察室前の待合いの壁にパンフレットがありますので、お手にとってみてください。予約不要ですので、この記事を読んでやってみてみたいと思われた方は、お気軽にスタッフにお声掛け下さい！

指先からの採血により
20分で結果がわかる
アレルギー検査のご案内

注射器を使いません
お子様も簡単に検査できます
●採血が楽です

指先から
簡単採血

まずは、裏面でアレルギー度をチェック!

ThermoFisher
SCIENTIFIC

編集後記



かなり眼科は先生をはじめ猫を飼っているスタッフが多いのですが、かく言う私も猫2匹と暮らしています。そのうちの1匹が数年前から腎不全を患っており、定期的に通院しています。最近、自宅での点滴治療も始まりましたが、何度やっても針を刺す瞬間はドキドキし、耐えている顔を見ると針を抜いてしまいたくなる気持ちと戦いながら行っています。

その腎不全の治療とは別に、《幹細胞治療》という再生医療も行っているのですが、皆様聞いたことはありますか？

これは様々な器官や臓器などに分化する幹細胞を用いる治療です。主に自家移植と他家移植の2種類方法があり、うちの猫は他家移植を行っています。ご協力いただいた健康なドナーからまずは脂肪を採取し、その後培養して得られた幹細胞を点滴にて投与するのです。効果は病状などにもよりますが、体調の改善や病気の進行抑制などがあります。再生医療と呼ばれている所以ですね。

眼科に勤務していても思いますが、患者様の負担が少ない薬剤や検査、治療法が今後も増えていけば良いと感じています。

編集長